

# 「戦争法廃止を実現するひたちなか市民の会」

ニュース 第3号 2016. 3. 1

発行：戦争法廃止を実現するひたちなか市民の会

連絡先：茨城県ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤英一 (TEL/FAX:029-273-4775)

ホームページ <http://nowar-hitachinaka.wix.com/classic-layout>

## 「戦争法廃止を求める」2000万人署名に 参加しませんか？

まとまりました署名は、4月20日（水）までに標記の連絡先か  
ご近所の会員宅にお届けください。

### 市民の会 3月予定

その場での参加大歓迎です。

#### 「アベ政治を許さない」アピール

3日(木) 午後1:00~2:00  
勝田駅東口

#### 市毛交差点アピール

毎土曜日 午前7:30~8:30  
市毛交差点西側

#### 街角アピール

11日(金) 午後3:00~4:00  
勝田駅前常陽銀行角  
18日(金) 午後3:00~4:00  
NTT角  
25日(金) 午後3:00~4:00  
カスミ中根店前(常銀向)

#### 那珂湊地区アピール

毎日 午前7:20~7:50  
ツルハドラッグ前  
毎日 午前8:00~8:30  
R245 関戸北交差点



勝田駅東口アピール



辻立ち120日のSさんより  
(ツルハドラッグ那珂湊店前)

## 戦争法(安全保障法)と緊急事態条項改憲に 「安倍政権の危うさ」

茨城大 田中重博 名誉教授 講演

田中名誉教授は、安倍政権が、自民党の憲法改正草案にある「緊急事態条項」に再三言及していることに関して、「ヴァイマル憲法とヒトラー」(池田浩士著 岩波現代全書)をひいて、ヒトラー率いるナチスがドイツ議会で国会の権利をはく奪する「全権委任法」を

合法的に成立させ、政府命令一つで自由に支配していった過程を想起し、今、日本が「独裁国家」へ踏み込もうとしていることを話されました。詳しくは、本会ホームページでご覧ください。(講演は、2月の「春を呼ぶつどい」にて)

### 戦争は絶対ダメ！ 戦死した父親に思いはせて

磯前勝一さん(元市議 那珂湊地区) 渾身の訴え

「私は4才の時に親父が戦死したのだが、7才の時に家族から教えられた。自民党の憲法草案にある緊急事態条項の98条99条について、自民党内でも学習したが、きょうの田中重博先

生の『戦争法を廃止し、平和とくらしを守ろう』の講義を聞いて良く分かった。今の日本、戦争の気配がする。戦争は絶対ダメだ。私はどこでも戦争は絶対ダメと言う。」(同上の集いにて)

日本卓球連盟公認審判員 野々村律子さん 街頭でアピール

# “うちの孫を戦争に行かせるのは絶対に嫌！！”

2月26日は強い風が吹く寒い日でしたが、午後3時から1時間、カスミ中根店角でよく参加しているメンバーとともに、野々村さんは「戦争はごめんだ」のボードを掲げ訴えました。車中から手を振ってくれる方や、がんばれと声を掛けてくれる歩きの方がいました。なお、野々村さんは、本会にメッセージ「今、想う事」（下記）を寄せ、戦争法の廃止を求める統一署名活動に参加しています。

**寄稿**

「今、想う事」

野々村 律子

（日本卓球協会公認審判員 ひたちなか市高野）

“うちの孫を戦争に行かせるのは絶対に嫌！！”

私は先の大戦時には、直接戦禍を感じる事はありませんでしたが、唯一連れ合いが生前に〈小学生の時、日立会瀬の沖合いから、暗闇の中を日立製作所めがけてポンポンと飛んでくる砲弾の火花が目には焼き付いている〉と言っていた事を覚えております。これだけで、幸い自分のこれまでの半生は、戦争の余波をうけた事は無かった様に思います。しかしながら近頃の新聞などのメディアから戦争の話題が頻繁に目に、耳に入る様な気が致します。

私の記憶の中では、読売新聞の「時代の証言者」美輪明宏氏の記事や美空ひばりさんの記念遺作ビデオの中の広島平和音楽祭で涙ながら熱唱された「一本の鉛筆」の歌声が心に響いております。

思い起こせば、岩手県遠野物語りの遠野に生を受け、宮沢賢治の生誕地花巻で大きくなり、小学校五年生で卓球に出会い、中学校、女学校を経て、茨城の地「日立多賀」の会社に入社させて頂きました。勝田そしてひたちなかでの楽しい、意義ある日々を過ごせたとと思います。やりたい事、言いたい事、行きたい所に行く事が出来る、やらせて貰える、と言う張りの有る生活が出来たと思っております。いろんな素敵な人々、温かい人々と出会えた事は、私にとって誰にも負けない程の幸せであり、周りの皆様もそのようにおっしゃって下さるとおりです。

この度、（中略）署名活動について知り、即座に署名（戦争法の廃止を求める統一署名）させて頂きました。そして私で役立つ事が有りましたら、出来る範囲でお手伝いさせて頂く事をお約束いたしました。（中略）

私は今こそ自分が立ち上がる時だと思い、この戦争法を廃止するための活動を始めようと思っております。皆様もちょっと考えて見て下さい。林先生じゃないですけど、「今でしょう」。ご家族に、大事な人に想いを馳せてお考え下さい。（掲載にあたり、筆者の許可を得て原文を一部変更しました）

戦争は平和を  
掲げて  
やって来る

戦争は  
ごめんだ！

若者を  
戦場に  
送るな

皆さんの声・つばやき  
お寄せ下さい。  
TEL/FAX:029-273-4775